

村上市猿沢地域まちづくり通信

リードご! 猿沢 23

vol 23 2018.3.15 発行

豊富な環境を守り、みんなの生きがいを生み出す活力ある地域を創る



もくじ

- ◎まゆの花アレンジメント講座 開催 1 P
- ◎昔ながらの料理教室を開催 2 P
- ◎地域の茶の間世話人情報交換会 3 P
- ◎力と心を合わせて 3 P
- ◎保育園の取り組み 3 P
- ◎おらだりやねらだりの宝もの 4 P
- ◎にぎわう「二年参り」 4 P
- ◎春のお楽しみ行事 4 P
- ◎あとかき 4 P



みどりの里で作品展を開催

2月10日から3月11日までみどりの里、物産会館にて「第22回まゆの花作品展」が行われました。作品数は200点を超え、会員を始め地元児童や有志の作品など力作が揃いました。入口を飾るバラのアーチや、昨年の流行語でもある「インスタ映え」を意識した作品を設置するなど、喜んでいただけるよう展示を工夫しました。悪天候が続く中、客足はまばらではありましたが、一足早く春が来た様な華やかな空間に、綺麗とお声をいただき嬉しかったです。



第一線で活躍しているフラワーデザイナーの數本一翠(やぶもと)といっすい先生が、私の気持ちに答えてくださったことは本当に幸せです。そして何より、新しい事がしたいという提案に対して柔軟に対応してくださり、美しいお花を作ってくださいました。さらにもう多くの方にまゆの花の魅力を発信できるように来年度も様々な事に挑戦していきます。



まゆの花アレンジメント講座開催

地域おこし協力隊 細井幹子

2月4日にマナーボーテ村上にて、まゆの花のアレンジメント講座を開催いたしました。当日は約20名の方が雪の降る中集まっていたいただき、終始和やかな雰囲気の中でイベントは行われました。

多くの方にまゆの花に触れていただく機会を増やし、魅力を知っていただきたという思いを抱いて、昨年からは地域おこし協力隊として活動をしてきました。その中で、まゆの花を一人で作るのは難しいという声に、何か応えることができなかつたのかと考えたのがアレンジメント講座でした。

おらだりやねらだりの宝もの

佐藤医院 佐藤和女院長 「板屋越」

佐藤医院は、初代泰庵、二代目政太郎、三代目誠治、四代目潔、栄美子、五代目が泰治、そして私です。佐藤内科医院として開業が、昭和23年1月、歯科医院開業が昭和23年4月でした。私達五代目が新診療所を板屋越で開業したのは、平成5年4月、その後猿沢に老人保健施設杏園、在宅介護支援センター、ケアハウスひまわり、ヘルパーステーションひまわり、グループホームあさひを開設しました。施設と診療所が離れていたため、平成20年12月板屋越の診療所を閉院し、平成21年1月猿沢の施設に併設した診療所を開院、平成25年8月特別養護老人ホームあさひを開設、複合医療福祉施設となりました。



私は、山口県光市出身で、亡夫とは、大学の先輩後輩として知り合いました。医師として仕事をしていた時、結婚が決まり、板屋越に嫁として参りました。温暖な瀬戸内海側から気象状況の厳しい日本海側に来たのですが、当時は分からない言葉が多く、頓珍漢な返事をして、たくさんの方々に不快な思いをさせてしまったと思っています。亡夫が板屋越で診療を始めて感じたのは、通院困難な高齢者の方が多いということです。広い朝日地区を皮切りに山北地区、村上地区にバスを走らせ、自由に診療にこられること、高齢者の方々の介護を手助けするために施設を開設しました。亡夫の意志を引き継ぎ、「誰が、今、何に一番困っているか。」を常に第一に考え、医療、保健、福祉のサービスを地域の方々と総勢115名の職員との温かい人間関係の向上のために貢献していきたいと思っています。



にぎわう「二年参り」

竹灯籠でライトアップ



宮ノ下の大晦日は、深夜零時までに神社を参拝する「二年参り」が定着しています。昔からある家族総出の慣例を再認識してもらうために、近年は「若衆の会」が竹灯籠で参道のライトアップに取り組んでいます。今年は丁度よい積雪があり、約250本の竹灯籠も安定して設置することができました。すべての竹灯籠に火が灯った風景はとても幻想的でした。また、温かい甘酒も飲んでいただき、参拝に訪れた方々にも喜んでいただけました。今回で二度目の試みでしたが、これから回を重ね、より良いイベントにしていきたいと思っています。(石栗一也 宮ノ下)

春のお楽しみ行事

- | | | |
|----|-----|-----------------------|
| 3月 | 23日 | 卒業証書授与式(猿沢小学校) |
| | 26日 | 卒園式(猿沢保育園) |
| 4月 | 3日 | 入園式(猿沢保育園) |
| | 9日 | 入学式(猿沢小学校) |
| | 15日 | 地域の茶の間 花見(下中島) |
| | 21日 | 猿沢まち協定期総会 |
| | 22日 | 大沢の桜ライトアップ(寺尾)、花見(猿沢) |
| | | 観桜会(川端)、春の村仕事と観桜会(上野) |
| | 28日 | 鯉のぼり飾り(~5/6まで)(寺尾) |
| 5月 | 3日 | みどりの里 春まつり(~6日まで) |
| | | 桜並木と上のタンポの整備(寺尾) |
| | 12日 | まほろば茶会(みどりの里) |
| | 18日 | 親子遠足(猿沢保育園) |
| | 26日 | 閉校記念運動会(猿沢小学校) |
| 6月 | 3日 | 猿沢地区敬老会 |
| | 9日 | 地域一斉クリーン作戦 |
| | 17日 | 川祭り(前の川周辺整備)(猿沢) |

あとかき

政府は公的年金の受け取りを始める年齢について、受給者の選択で70歳超に先送りできる制度の検討に入ったと言っていた。日本の平均寿命は、およそ83歳と言われているが、こればかりは人それぞれである。年金で暮らせる期間は平均寿命の83歳から引き算をして・・・ため息を漏らすのは、そろそろ定年が見えてきた世代だろうか、それとも半世紀働くことになる20代だろうか。(石田 勝 宮ノ下)

発行元・お問い合わせ

- 発行 猿沢地域まちづくり協議会
- 事務局 〒958-0251 新潟県村上市岩沢 5611 番地 (村上市朝日支所 地域振興課内)
- 連絡先 tel.0254-72-6881 fax.0254-72-0328 MAIL as.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp
- HP でも活動の様子を公開しております http://www.city.murakami.lg.jp/site/sarusawa/



2/17 はさわやか体操も披露!

地域の茶の間世話人情報交換会

12月9日に地域の茶の間世話人情報交換会を行いました。今回は人材確保や育成をテーマとし、高根集落地域の茶の間世話人の遠山美子さんをお招きし、講演をいただき、意見交換を行いました。高根の茶の間立ち上げから現在までの取り組み、たかねコミュニティラボ「わあら」で行う「いっくくところ」への関わりなど、その活躍はまさに「たかねの高齢者の居場所づくりのトップランナー」。いっくくところは子供も巻き込んで活動するなど、多様な取り組みに一同感心。人材確保では、日頃から気軽に声をかけ合える人間関係づくりが大事と認識しました。

2月17日には地域まちづくり組織活動発表会があり、市内のまちづくり組織が集まる中で、この取り組みを発表。注目は高く、多くの質問がありました。高齢者を支援する福祉活動は今後重要になっていきます。このような取り組みが各協議会に広がることを願っています。

児童たちの声

猿小 鮭のぬめりを取る時は、何回やってもぬめりが出て来て大変でしたが、一回ずついいぬめりに取り除きました。(笠川 義晴 (よしはる) 4年生)

猿小 鮭に塩をすりこむ時に、鮭の体の表や中にすりこむ塩の分量を考えたがすりこむことがあずかしくかったです。(大滝 美樹 (みき) 4年生)

猿小 ぬめり取りは、おぐく力があることが分かった。いつも作っている人はすごい、と思った。(渡辺 珠稀 (たまき) 4年生)

猿小 班の人と一緒に活動できて楽しかった。鮭をいっぱい洗ったので、大変だった。(中山 陽菜 (ひな) 4年生)



(猿小4年生担任 中澤 陽子)

力と心を合わせて

猿小塩引き鮭づくり体験

11月29日に行われた四年生の塩引き鮭づくりは、平成31年度の統合新設校スタートに向けて塩野町小学校の三・四年生との合同学習となりました。子どもたちは、互いの学校の総合的な学習の時間に鮭について詳しく学んできました。当日は、下中島の笠川和男さんを講師にお招きし、各校混合の班ごとに地域、保護者、まちづくり協議会の皆さんのたくさんのお力をいただきました。大きく立派な鮭に「おいしくなあれ。」と願いを込め、ていねいに塩をすり込み、塩引き鮭を完成させました。両校の子どもたちが声を掛け合い、力を合わせ、笑顔で活動する姿があらわこちらで見られました。

保育園の取り組み

新年茶会で 保育園児がおもてなし

1月17日は年長児の保護者を招待しての新年茶会が開かれました。はかま姿の男の子、着物姿の女の子がお運びをし、お家の人をお茶とお菓子でおもてなし。お茶碗は、6月に親子で作った『世界に一つだけの抹茶碗』。お遊戯室には、祖父母と一緒に作った『だんごの木』が飾られ、子ども達の書初めも展示し、お家の方も子ども達の立ち振る舞いに成長を感じ、胸を熱くしていました。

(猿沢保育園 石田保育士)



(猿沢保育園 竹内園長)

サンタとライスレンジャー 保育園に登場

12月22日、朝日商工会青年部の皆さん扮する『ライスレンジャー』と『サンタクロース』が猿沢保育園に登場! ドスン!! という大きな音と共に職員手作り暖炉から飛び出したのは大きなサンタさん♡子ども達の目はまん丸。そして、ライスレンジャーの登場に大興奮!!

みんなで歌ったり踊ったり... 夢のような1日でした。たくさんさんのプレゼントをもらい、「ありがとうございました」「又来年も来てね!」とハイタッチでお別れしました。

昔ながらの料理教室を開催

2月18日、産業開発部会では甘酒と塩麹づくりの料理教室を体験交流センターで実施しました。参加者は21名でした。講師は神林地区のゆりの会企業組合代表理事の小田美千子氏にお願いしました。甘酒といえば私にとっては、子供の頃の記憶を思い起させます。

昔、母の実家で祖母が飲ませてくれた甘酒がとても美味しく衝撃的だったからだと思います。今でも、壺に入っている甘酒が奥座敷に鎮座している情景をはっきりと思い出すことが出来ます。お代わりをしたくても言い出せない雰囲気を感じて。今回、甘酒教室を実施するにあたり昔、甘酒がいかに滋養のある食品で貴重な食べ物であったかを改めて学ぶことが出来ました。

伝統料理には先人の知恵が結集されていますね。今回、教室に参加された方の多くは六十代でした。甘酒は美肌効果も謳われています。そして塩麹は万能調味料として日々の料理にも応用が出来ます。今回はスタッフで試行錯誤を重ね、甘酒アレンジ料理も作りました。楽しく盛り上がったのは単に試食が多かったからだけではないと思うのです。が...。それにしても甘酒は簡単につくれますね。来年度も料理教室を企画します。ので、皆様ぜひ又ご参加下さい。

参加者からの感想

かんたんに作れました。甘酒のよせ物もカボチャのスープもおいしかったです。また、ばあちゃんと参加したいです (大滝 祥香 猿小4年 板屋越)

甘酒は好きなので、失敗しない作り方を聞きたく参加しました。アレンジレシピも美味しく是非今度作ってみたいです。(板垣 由里子 寺尾)

塩麹にひかれて参加しました。試食の充実ぶりにビックリ。持ち帰った甘酒は色付きの寄せ物にして頂きました。(川村 眞友美 川端)



(産業開発部会 川村 陽子 川端)

